

# 第3章

## その他

- 1 成果指標
- 2 主な施設、サービス水準
- 3 公共施設における保全、長寿命化などの取り組み
- 4 部局別計画事業一覧

# 1 成果指標

## (1) 成果指標とは

成果指標は、政策目標の実現に向けて、具体的な目標となる項目を定め、その目指すべき水準について数値を用いてわかりやすく示したものです。

## (2) 第2次札幌新まちづくり計画における位置づけ

第2次札幌新まちづくり計画における成果指標は、まちづくりを担う市民・企業・行政などの各主体が協働して目指していく目標を具体的かつわかりやすく示したものであり、各主体の取り組みを促し、その達成を目指すものです。

前計画から導入したこの成果指標については、より適切な指標の選定や定期的なデータ把握など、時間をかけて検証しなければならない課題があることから、試行と位置づけていましたが、今回の計画においては、成果指標を設定するにあたり、前計画との継続性を考慮しつつ、ある程度成果を達成したものやデータ把握が困難なものなどは項目の見直しを行いました。

指標は、できる限り成果指標（アウトカム指標）を採用しましたが、分野によっては、一部活動指標（アウトプット指標）を代替的に設定しています。

また、指標の性質により、成果指標を以下の2種類に分けて表示しました。

### 「市民意識・行動指標」

市民の意識や行動について、定期的なアンケート調査などによって得られた数値によりその傾向を把握するもの。

### 「社会成果指標」

統計数値を利用、あるいは独自の調査により把握した数値を用いて、その傾向を把握するもの。

## (3) 指標選定の基本的な考え方

重点課題ごとに4～6の指標を設定しており、計画全体で66項目設定しています。

指標選定にあたっては、市民にわかりやすい、集約的・代表的である、強く達成が求められるなどの要素や、前計画や既存の部門別計画、行政評価における類似指標の設定の状況なども踏まえながら、選定しています。

## (4) 目標値設定の基本的考え方

基本的には、指標の現状値や既存の部門別計画、行政評価における指標との整合性、過去の推移、他都市の状況などを踏まえて目標値を設定しましたが、指標によっては、これまでに寄せられた市民意見なども参考にしながら、努力目標的要素も加味した、高めの目標値を設定した項目もあります。

市民・企業・行政などの各主体共通の目標値として、おのこの役割を果たしながら、その達成を目指していきます。

## (5) 成果指標の活用

成果指標は実績値を定期的に調査し、毎年度の進行管理に役立てるとともに、政策・施策の成果を把握しながら、計画事業の効果的・効率的な推進に活用していきます。

(6) 成果指標一覧

	指標項目	現状値	目標値	指標選定の考え方	目標値設定の考え方	
<b>政策目標1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街</b>						
<b>重点課題1</b> 子どもを生き育てやすい環境づくり	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	1	子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	43.3% (18年度)	60% (22年度)	子育て環境に対する市民意識を示す指標	3人に2人程度が子育てしやすいまちだと思ふ状態を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	2	札幌圏*で育児休業を取得した人数	5,004人 (18年度)	7,000人 (22年度)	企業によるワーク・ライフ・バランス*への配慮が進んだことを示す指標の一つ	過去の傾向を参考に、毎年度500人程度の増加を目指す
	3	保育所待機児童*数	212人 (19年度)	0人 (23年度)	保育環境の充実度を示す指標の一つ	待機児童の解消を目指す (H23.4.1現在の数値)
	4	新生児訪問指導を受ける人の割合	62.2% (17年度)	100% (22年度)	親子の健康と育児への関心の高さを示す指標の一つ	国が示す「全戸訪問」の達成を目指す
5	子育てサロン*が開催されている地域の割合(小学校区単位で見た場合)	86% (18年度)	100% (21年度)	地域での子育て支援の充実度を示す指標の一つ	次世代育成支援対策推進行動計画に掲げる平成21年度の目標値100%の達成を目指す	
<b>重点課題2</b> 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	6	家庭などにおいて、自分の興味あることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合	- (18年度)	100% (22年度)	子どもの学びの意欲に関する指標の一つ	すべての児童生徒が興味のあることについて自ら進んで学ぶ意欲を持つ状況を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	7	地域への授業公開校の割合(小・中学校)	75.1% (18年度)	100% (22年度)	地域に開かれた学校づくりの状況を示す指標の一つ	全校が公開している状況を目指す
	8	小・中学校における地域人材の活用*人数	10,259人 (18年度)	12,000人 (22年度)	学校教育における地域連携の推進状況を示す指標の一つ	1校当たり40人程度の地域人材の活用を目指す
	9	不登校児童・生徒の出現率	1.09% (18年度)	1.0%未満 (22年度)	不登校に対する取り組み状況を示す指標の一つ	過去5年間で最も低い出現率1.0%を下回ることを目指す
10	児童会館で行われている事業の参加者数	41万人 (18年度)	47万人 (22年度)	子どもの多様な体験状況を示す指標の一つ	過去の推移をもとに、今後のミニ児童会館の整備見通しを踏まえ設定	

	指標項目	現状値	目標値	指標選定の考え方	目標値設定の考え方	
<b>政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街</b>						
重点課題1 市民の主体的な地域づくりの支援	【市民意識・行動指標】					
	11	町内会、NPO*、ボランティアなど市民まちづくり活動に参加経験のある人の割合	41.1% (18年度)	60% (22年度)	市民活動の活発さを示す指標の一つ	3人に2人程度が参加経験を持つことを目指す
	12	コミュニティ*組織（町内会など）の活動が盛んに行われていると思う市民の割合	57.8% (18年度)	70% (22年度)	地域のまちづくり活動の活発さを示す指標の一つ	7割の市民がコミュニティ活動が盛んであると感じることを目指す
	【社会成果指標】					
	13	NPO認証法人数（札幌市に主たる事務所を置くもの）	569団体 (18年度)	900団体 (22年度)	NPO活動の活発さを示す指標の一つ	過去の傾向を参考に設定
14	地域と創る冬みち事業に参画した町内会数	186 町内会 (18年度)	560 町内会 (22年度)	市民の主体的な雪対策の状況を示す指標	対象町内会（1,877）の3割が参画することを目指す	
重点課題2 札幌の経済を支える企業・人の支援	【社会成果指標】					
	15	中小企業向け融資制度の新規融資件数及び融資額	8,579件 1,095億円 (18年度)	8,900件 1,109億円 (22年度)	中小企業に対する資金面での支援を示す指標	金融情勢並びに融資実績から推計した件数及び金額を設定
	16	経営や起業に関する相談・アドバイス件数	4,034件 (18年度)	8,000件 (22年度)	起業や中小企業の経営課題解決にあたってアドバイス面での支援の充実を示す指標	現状の2倍近い相談・アドバイス件数を目指す
	17	展示会・商談会への参加企業数	166企業 (18年度)	300企業 (22年度)	販路拡大を支援するための展示会・商談会への出展支援の充実を示す指標	過去の実績を上回る参加企業数を目指す
	18	雇用創出事業及びマッチング*による就職者数	4,441人 (18年度)	6,000人 (22年度)	就職支援体制の充実などによる実績を示す指標	過去の実績を上回る就職者数を目指す
重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	【社会成果指標】					
	19	スイーツ*王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	85件 (18年度)	170件 (22年度)	洋菓子産業振興の取り組み、対外的アピール力強化を示す指標	現状の2倍の参画会員数を目指す
	20	札幌スタイル*認証製品数	56件 (18年度)	100件 (22年度)	新たなデザイン提案などを商品化に結びつける成功事例の蓄積を示す指標	現状の認証製品数の8割程度の増加を目指す
	21	取引可能な映像作品等の集積本数（累計）	1,500本 (18年度)	10,000本 (22年度)	市民の札幌国際短編映画祭に対する関心の高さを示す指標	現状の7倍近い作品（コンテンツ）の集積を目指す
	22	大学の共同研究・受託研究実績	821件 (18年度)	1,000件 (22年度)	大学における共同研究・受託研究を示す指標	過去の実績を上回る研究実績を目指す
	23	IT*・コンテンツ*・パイオ*企業及びコールセンター*・ニュービジネス*の誘致数	39件 (18年度)	75件 (22年度)	経済・雇用の活性化の起爆剤となる企業誘致数を示す指標	現状の2倍近い企業誘致数を目指す

	指標項目	現状値	目標値	指標選定の考え方	目標値設定の考え方	
<b>政策目標3 高齢者・障がい者へのめくもりあふれる街</b>						
<b>重点課題1</b> 高齢者の地域生活支援の充実	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	24	週2回以上外出する高齢者の割合	78.2% (18年度)	85% (22年度)	高齢者の社会参加の状況を示す指標の一つ	現状から5ポイント以上の増加を目指す
	25	町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合	9.5% (18年度)	20% (22年度)	高齢者の社会参加の状況を示す指標の一つ	5人に1人が活動をしている状態を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	26	シニアサロンに参加している人数（箇所数）	9,021人 (6カ所) (18年度)	48,000人 (20カ所) (22年度)	社会参加の機会になっている状況を示す指標の一つ	過去の傾向を上回る伸びを目指す
	27	認知症*サポーター養成数（累計）	1,862人 (18年度)	9,000人 (22年度)	地域福祉力*の向上を示す指標の一つ	国の目標数に準拠
	28	一般高齢者*の介護予防事業への参加者数	41,228人 (18年度)	58,500人 (22年度)	高齢者が自立した生活を送ることができるようにするための指標の一つ	現状の「すこやか倶楽部、介護予防教室」参加者数の4割以上の増加を目指す
29	転倒・骨折予防事業への参加者数	1,702人 (18年度)	2,400人 (22年度)	高齢者が自立した生活を送ることができるようにするための指標の一つ	現状の4割程度の増加を目指す	
<b>重点課題2</b> 障がい者の自立支援の促進	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	30	まちのバリアフリー*化が進んでいると感じる障がいのある人の割合	29.3% (19年度)	50% (22年度)	障がいのある人が感じる「まちのバリアフリー」の進展度を示す指標	障がいのある人の2人に1人がバリアフリー化が進んでいると感じる状態を目指す
	31	まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合	— (18年度)	60% (22年度)	障がいのある人も含めた全ての人が感じる「まちのバリアフリー」の進展度を示す指標	「まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合」の目標値の+10%を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	32	入所施設の入所者の地域生活への移行者数（H19～22累計）	— (18年度)	320人 (22年度)	身体・知的障がいのある人の地域生活への移行を示す指標	「障がい福祉計画（H18～23）」に掲げる目標値の達成を目指す
	33	入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数（H19～22累計）	— (18年度)	264人 (22年度)	退院可能な精神障がいのある人の地域生活への移行を示す指標	「障がい福祉計画（H18～23）」に掲げる目標値の達成を目指す
	34	福祉施設から一般就労への移行者数	22人 (17年度)	87人 (22年度)	障がいのある人の一般就労の状況を示す指標	「障がい福祉計画（H18～23）」に掲げる目標値の達成を目指す

	指標項目	現状値	目標値	指標選定の考え方	目標値設定の考え方	
<b>政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街</b>						
<b>重点課題1</b> 水とみどりの 保全・育成と 創出	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	35	身近なみどりの満足度	－ (18年度)	50% (22年度)	みどりに対する満足度の度合いについての市民意識を示す指標	2人に1人が身近なみどりに満足する状態を目指す
	36	地域の緑化活動への参加意識	－ (18年度)	50% (22年度)	地域の緑化活動への市民意識を示す指標	2人に1人が緑化活動に参加する意識を持つ状態を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	37	河川の水環境目標値（環境基準）の達成率	100% (18年度)	100% (22年度)	水質保全対策の成果を総合的に示す指標	全ての地点で環境基準の維持を目指す
38	みどりに関わるボランティア登録団体数	50団体 (18年度)	100団体 (22年度)	市民のみどりに対する保全・創出活動の取組状況を示す指標	現状の2倍程度を目指す	
<b>重点課題2</b> 地球環境問題への対応と循環型社会の構築	<b>【社会成果指標】</b>					
	39	市民の省エネ・省資源行動指標（省エネ・省資源を实践したことによるCO <sub>2</sub> 削減量）	－ (18年度)	10万t (22年度)	市民の環境行動の実践状況を示す指標	「札幌市温暖化対策推進計画」に基づき算定
	40	市内における新エネルギー*・省エネルギー機器導入によるCO <sub>2</sub> 削減量	13,000t (18年度)	55,000t (22年度)	市民のエネルギー問題に取り組む状況を示す指標	「札幌市温暖化対策推進計画」における目標値の達成を目指す
	41	廃棄ごみ量（平成16年度対比）	6%減量 (18年度)	20%減量 (22年度)	ごみ減量の状況を示す指標	「札幌市一般廃棄物処理基本計画」に基づき算定
	42	環境に配慮している事業者数	776件 (EMS* 構築数のみ) (18年度)	2,000件 (22年度)	環境保全に向けて取り組む企業などの状況を示す指標	現行のEMS構築事業者数に加え、本市独自の環境配慮定義による環境配慮事業者数の増加を見込んで設定
<b>重点課題3</b> 日常の身近な暮らしの安心の確保	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	43	日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合	72.9% (18年度)	60% (22年度)	身近な犯罪に対する市民の不安感を示す指標	毎年3ポイント程度の減少を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	44	人口1万人当たりの火災発生件数（出火率）	4.2件 (18年度)	4.0件 (22年度)	火災の発生頻度を示す指標	政令市の過去5年の平均値4.1を下回ることを目指す
	45	地域防犯活動に参加している人の割合	12.9% (18年度)	17% (22年度)	安全・安心に関する地域活動への市民の意識を表す指標	毎年1ポイント程度の向上を目指す
46	救命講習の受講人員	19万人 (18年度)	29万人 (22年度)	市民による救命活動の向上を示す指標	生産年齢人口の2割以上を目指す	
<b>重点課題4</b> 災害に強い安全なまちの整備	<b>【社会成果指標】</b>					
	47	自主防災組織の結成率	86.6% (18年度)	90% (22年度)	市民の自主的な防災活動の普及の度合いを示す指標	現状から3ポイント程度増やすことを目指す
	48	簡易型災害図上訓練*（DIG）に参加した人数	1,063人 (18年度)	2,500人 (22年度)	市民の防災意識の高揚感を示す指標	平成18年度の参加人数の2倍以上を目指す
	49	第1次緊急輸送道路*における橋りょうの耐震化率	68.8% (18年度)	100% (22年度)	災害時における緊急輸送道路（市内）の確保を示す指標	平成22年度に第1次緊急輸送道路の耐震化100%を目指す
	50	札幌市内の住宅の耐震化率	82.8% (18年度)	85.5% (22年度)	民間建築物の耐震化の状況を示す指標	平成27年の耐震化率90%を目標に、平成22年度時点の目標を設定

	指標項目	現状値	目標値	指標選定の考え方	目標値設定の考え方	
<b>政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街</b>						
<b>重点課題1</b> 札幌の特色を活かした文化芸術の振興	<b>【社会成果指標】</b>					
	51	主要文化芸術施設（芸術の森・札幌コンサートホール・教育文化会館など）の利用者数	150万人 (18年度)	180万人 (22年度)	市民の文化芸術活動の活発さや芸術鑑賞などに対する関心の度合いを示す指標	過去5年平均伸び率を基に設定
	52	市内主要イベント（PMF、札幌交響楽団公演、サッポロ・シティ・ジャズ、アートステージ）の観客者数	52万人 (18年度)	65万人 (22年度)	市民の文化芸術活動の活発さや芸術鑑賞などに対する関心の度合いを示す指標	過去の平均伸び率や、動員見込みを基に設定
	53	主要文化財施設（時計台、豊平館、清華亭など）の利用者数	28万人 (18年度)	30万人 (22年度)	文化遺産に対する関心の度合いを示す指標	年1%程度の伸びを見込み設定
	54	文化芸術に関するボランティア数（サッポロ・シティ・ジャズ、キタラ、PMFなど）	159人 (18年度)	500人 (22年度)	市民の文化芸術活動の活発さや関心の度合いを示す指標	過去の平均伸び率や、動員見込みを基に設定
<b>重点課題2</b> スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	55	週に1回以上スポーツ（運動）を実施する人の割合（成人）	30.5% (18年度)	50% (22年度)	市民のスポーツ活動の活発さを示す指標	「スポーツ振興計画」に掲げる平成22年度の目標値50%の達成を目指す
	56	直接スポーツ観戦をする人の割合	46.8% (18年度)	60% (22年度)	市民のスポーツ観戦に対する関心の度合いを示す指標の一つ	3人に2人程度が、年に1回以上直接スポーツを観戦することを目指す
	57	自分の健康状態をふつう以上と感じる人の割合（成人）	77.8% (18年度)	85% (22年度)	健康状態についての市民の自己評価を示す指標	現状の1割程度の増加を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
58	健康づくり応援企業・店舗数*	1,227件 (18年度)	2,000件 (22年度)	企業などによる市民の健康を意識した取り組みの状況を示す指標	過去の増加件数を踏まえ、各年度200件の増加を目指す	
<b>重点課題3</b> 将来を見据えた魅力ある都市の整備	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	59	札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合	64.7% (18年度)	75% (22年度)	市民が感じる都心の活力を示す指標	4人に3人が、都心ににぎわいがあると感じる状態を目指す
	60	住んでいる地域の住環境（街並み）に満足している人の割合	53.4% (18年度)	65% (22年度)	住んでいる地域の住環境（街並み）に対する市民の意識を示す指標	3人に2人が、住環境に満足していると感じる状態を目指す
	61	公共交通に対する満足度	42.3% (18年度)	50% (22年度)	公共交通の質的充実度を示す指標	2人に1人が、公共交通に対し満足することを目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
62	公共交通の利用者数	109万人 (18年度)	110万人 (22年度)	公共交通の量的充実度を示す指標	減少傾向に歯止めをかけ、増加に転じることを目指す	
<b>重点課題4</b> 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	<b>【市民意識・行動指標】</b>					
	63	観光地としての総合満足度	84.7% (18年度)	90% (22年度)	観光魅力、受入環境の充実度などを示す指標	現状から5ポイント程度の増加を目指す
	<b>【社会成果指標】</b>					
	64	年間来客数	1,410万人 (18年度)	1,500万人 (22年度)	集客交流の状況を示す指標	過去10年間の平均伸び率の3倍の伸び率を見込んで設定
	65	外国人延べ宿泊者数	559,272人 (18年度)	70万人 (22年度)	海外からの集客交流の状況を示す指標	毎年度35,000人程度の増加を見込んで設定
66	札幌市内での総観光消費額	4,776億円 (16年度)	5,500億円 (21年度)	集客交流の札幌市経済に対する貢献度を示す指標	5年間で15%程度の増加を目指す	

## 2 主な施設、サービス水準

施設（サービス）名	計画事業量 (19~22年度)	整備水準（見込み）		備考
		18年度末	22年度末	
政策目標1 子どもを生み育てやすく、健やかにはぐくむ街				
認可保育所	新規 1,020人	16,730人	17,750人	整備翌年度の定員数を示す
延長保育事業	新規 26カ所	146カ所	172カ所	
一時保育事業	新規 20カ所	63カ所	83カ所	
休日保育事業	新規 2カ所	1カ所	3カ所	
乳幼児健康支援 デイサービス事業	新規 1カ所	4カ所	5カ所	H19:1カ所増 定員 16人⇒20人
妊婦一般健康診査	公費負担拡大	1回	5回	H19に制度開始
乳幼児医療費助成	助成拡充	4歳以上 課税世帯1割負担	就学前まで 原則無料化	H20に拡充予定
新生児訪問指導	対象拡大	第1子、必要と判断 される第2子以降	全出生児	H19に拡充
不妊治療費助成	助成拡充	上限10万円を年1回 所得制限650万円未満	上限10万円を年2回 所得制限730万円未満	H19に拡充
区保育・子育て支援センター	新設 3カ所	3カ所	6カ所	H19:東 H21:清田(認定 こども園) H22:白石
外国語指導助手	新規配置	43人	58人	中学校・高等学校に配置
学校図書館地域開放	新規 12校	87校	99校	毎年3校増
奨学金（高校・大学生）	対象拡大	456人	1,000人	毎年180人拡大 定時制・障がい枠の新設
児童家庭支援センター事業	新規 2カ所	2カ所	4カ所	
スクールカウンセラー*	相談拡充	小学: - 中学:週6時間	小学:月4時間 中学:週8時間	H19に小学校に拡充
児童クラブなどの障がい児受入	体制拡充	2人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成	H19に拡充
特別支援教育*巡回相談員	新規配置	3人	10人	H19に拡充
地域小規模児童養護施設	新設 1カ所	-	1カ所	
児童会館の中・高校生の 利用促進	時間延長	20館	104館	H19:20館増 21時まで(中学生は19時まで)
ミニ児童会館	新設 30館	40館	70館	H19:11館増



施設（サービス）名	計画事業量 (19~22年度)	整備水準（見込み）		備考
		18年度末	22年度末	
<b>政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街</b>				
地区センター	新設 1館	23館	24館	H20.4月に開設予定 里塚・美しが丘地区センター
<b>政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街</b>				
敬老優待乗車証	利用限度額拡大	5万円	7万円	H21に拡大予定
高齢者向け優良賃貸住宅*	新規 200戸	147戸	347戸	
地域包括支援センター (介護・健康何でも相談センター)	新設 4カ所	17カ所	21カ所	
特別養護老人ホーム	新設 8カ所	47カ所	55カ所	
障がい者グループホーム*等	新設 104カ所	164カ所	268カ所	定員 870人⇒1,510人
障がい者相談支援事業	新規 13カ所	相談支援：10カ所 住宅支援：0カ所	相談支援：16カ所 住宅支援：7カ所	
障がい児等療育支援事業	新規 3カ所	5カ所	8カ所	
障がい者協働事業	新規 7カ所	3カ所	10カ所	
地下鉄駅エレベーター等設置	新設 4駅	43駅	47駅	南郷7丁目、北18条、北12条、 バスセンター前駅
地下鉄駅施設のバリアフリー*化	整備 27駅	22駅	49駅	視覚障がい者誘導ブロック等
<b>政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街</b>				
防災行政無線	整備 300基	518基	818基	
地下鉄可動式ホーム柵設置	新設 19駅	—	19駅	東西線全駅
救急隊	新規 1隊	30隊	31隊	H19:1隊増(東区札苗地区)
<b>政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街</b>				
文化活動練習会場学校開放	新規 3教室	21教室	24教室	既存開放16校に教室増
都市公園のパークゴルフ場	新設 5コース	47コース	52コース	都市公園ほか厚別清掃工場 跡地、民間等で10カ所整備

注：備考欄中の「○⇒○」は、18年度末と22年度末の整備水準等の見込みを示している。

### 3 公共施設における保全、長寿命化などの取り組み

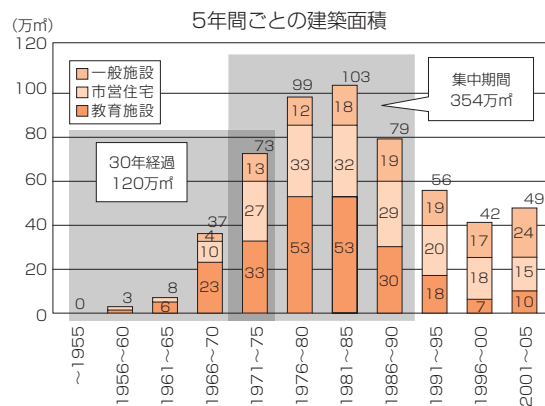
#### 現 状

札幌市では、政令指定都市へ移行したあと、都市の拡大にあわせて公共施設整備を進め、サービスの向上に努めてきましたが、これら公共施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎えることが予想されます。

##### 市有建築物の現状

札幌市が所有する公共施設等（企業会計が所有する施設を除く）の建築物の総延床面積は549万㎡（市役所本庁舎130個分）。

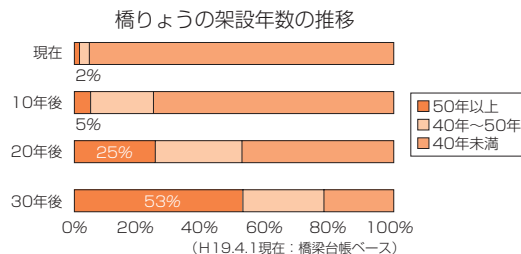
- 1971～90年度の20年間に354万㎡が集中（全体の約64%相当）。
- 1975年以前に建築し、築後30年を経過している施設は120万㎡（全体の約22%相当）。



##### 橋りょうの現状

札幌市が管理している橋は、道道も含め1,235橋。

- 架設から50年以上経過した橋りょうは約2%にあたる21橋（平成19年4月1日現在）。
- 30年後には、架設から50年以上の橋りょうは約半数にまで増加。



#### 課 題

老朽化が進むなか施設の長寿命化を目指し、維持補修や改修などの保全および計画的な更新を限られた予算の中で適切に進めていく必要があります。

##### ○施設の長寿命化

更新に係る費用の抑制と平準化を図るために、既存施設の長寿命化を行います。

##### ○保全に関する費用の縮減

長寿命化を実施するにあたっては、維持補修や改修を繰り返す必要があるため、これら保全に関する費用が膨らんでいくことが想定されます。このため、維持管理の最適化、予防的な保全体制への移行や保全業務の一元化などにより、費用の縮減を図ります。

##### ○計画的な更新

更新を実施するにあたっては、施設の必要規模、施設の統廃合や複合化などを検討し、計画的に進めます。

## 今後の取り組み

今回策定する「第2次札幌新まちづくり計画」では、緊急的に対応が必要な耐震改修などを除き、施設保全・維持補修などの事業は計画の対象外としていますが、公共施設の保全および維持管理、計画的な更新、長寿命化などの事業については、今後も安定・継続したサービスを提供できるよう、道路、市有建築物などの保全・整備計画や方針を策定するなど、財政状況を見極めながら着実に実施していきます。

### 主な取組内容

#### ■公共施設の保全および維持管理に関する事業

##### ○市有建築物ストックマネジメント\*の推進（都市局）

- ・ 予防的な保全体制、保全業務の一元化（平成24年度までに約450施設の保全業務の一元化）

##### ○道路維持管理最適化計画（建設局）

- ・ 舗装、橋りょうなどの維持管理計画の策定（市管理道路約5,400km、1,235橋）

#### ■計画的な更新、長寿命化に関する事業

##### ○市有建築物の更新

- ・ 札苗、青葉（青葉会館）まちづくりセンター\*（市民まちづくり局）
- ・ 北郷児童会館（子ども未来局）
- ・ 豊平清掃事務所（環境局）
- ・ 篠路出張所（消防局）
- ・ 下野幌、幌北団地（都市局）
- ・ 区役所建替計画の検討（市民まちづくり局）

##### ○私立保育園改築費補助（子ども未来局）

- ・ 札幌市の待機児童対策を担う私立保育園の老朽化に伴う改築等支援

##### ○清掃工場延命化等事業（環境局）

- ・ 篠路清掃工場の延命化を実施

##### ○水道管路・施設の改築・更新（水道局）（「札幌水道長期構想」「札幌水道経営プラン」）

- ・ 配水管の更新（水道管総延長約5,800km）、施設における設備などの更新

##### ○下水道管路・施設の改築・更新（建設局）（「札幌市下水道事業中期経営プラン」）

- ・ 老朽管の改築（管理対象管路延長約8,000km）、施設における設備更新

##### ○路面電車事業（交通局）（「交通局実施プラン」）

- ・ 軌道の改良（営業路線長約8.5km）

\*ストックマネジメント 既存の建築物など（ストック）を有効に活用し、長寿命化などを図る体系的な手法。

## 4 部局別計画事業一覧

局 部	事 業 名	施策体系コード		事業費
<b>危機管理対策室</b>				
<b>危機管理対策部</b>				
	自主防災活動の推進	4-4-1		72百万円
	簡易型災害図上訓練（DIG）への支援	4-4-1		5百万円
	災害時要援護者避難支援対策	4-4-1		12百万円
	地震等防災対策の充実と避難体制の強化	4-4-2		75百万円
	防災行政無線拡充整備	4-4-2		37百万円
	防災情報伝達モデル等推進事業	4-4-2		3百万円
<b>総務局</b>				
<b>行政部</b>				
	公文書館整備基本構想策定	5-1-3		4百万円
<b>国際部</b>				
	アジア学生交流事業	1-2-3	5-4-2	3百万円
	世界冬の都市市長会関連事業	4-2-1		43百万円
	「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」開催費負担	5-4-1		40百万円
	北海道洞爺湖サミット開催関連事業	5-4-2		-
<b>東京事務所</b>				
	首都圏シティPR事業	5-4-2		92百万円
	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業	2-3-2		43百万円
<b>市民まちづくり局</b>				
<b>企画部</b>				
	大学と地域の連携による都市再生の推進	2-1-2		23百万円
	「創造都市さっぽろ（sapporo ideas city）」の活用と推進	2-3-2		80百万円
	札幌市立大学大学院設置支援事業	1-2-1		-
	丘珠空港周辺のまちづくり事業	4-1-2	5-3-2	4,681百万円
	国際園芸博覧会構想の検討	4-1-4	5-4-2	12百万円
	（仮称）SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業	5-1-1		324百万円
	北海道新幹線推進事業	5-3-1		50百万円
	都心部における北海道の魅力発信事業	2-3-1	5-4-3	65百万円
	厚生年金会館存続の検討	5-1-1		21百万円
	都心まちづくり戦略の策定及び推進	5-3-1		10百万円
	創世交流拠点整備事業（創世1.1.1区再開発事業）	5-3-1		57百万円
	（仮称）市民交流複合施設整備事業	5-3-1		50百万円
	札幌駅交流拠点再整備構想策定事業	5-3-1		22百万円
	大通交流拠点再整備構想検討事業	5-3-1		10百万円
	都心再生協働事業	5-3-1	2-1-3	74百万円
	都心交通環境改善事業	5-3-1		70百万円
<b>都市計画部</b>				
	市民との協働による都市計画制度の普及	5-3-2	2-1-3	12百万円
	地域特性に応じた土地利用の再構築事業	5-3-2	2-1-1	50百万円
	苗穂駅周辺のまちづくり事業	5-3-2		14百万円
	景観計画推進事業	5-3-2		16百万円
	都市景観重要建築物等の保全事業	5-3-2	5-1-3	30百万円
<b>総合交通計画部</b>				
	交通バリアフリー推進事業	5-3-3	3-2-3	160百万円
	路面電車活用方針検討調査	5-3-3		67百万円
	バス交通維持対策事業	5-3-3		29百万円
	将来交通体系の検討	5-3-3		296百万円
	札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討	5-3-1		180百万円
	乗継施設等整備推進事業	5-3-2		27百万円
	自転車利用適正化対策事業	5-3-2		30百万円
	大通バスセンター耐震化・バリアフリー化等改修事業	4-4-3	3-2-3	300百万円
<b>情報化推進部</b>				
	交通ICカードの導入と活用	5-3-3		5百万円

局 部	事 業 名	施策体系コード			事業費
<b>市民まちづくり局</b>					
<b>地域振興部</b>					
	犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業	4-3-1			28百万円
	区役所施設等耐震補強事業	4-4-3			1,025百万円
	区民とつくる地区センターモデル事業(里塚・美しが丘地区センター建設)	2-1-3			505百万円
	まちづくりセンター地域自主運営化推進	2-1-1			-
	区民協議会設置・運営事業	2-1-2			32百万円
	大学や学生との連携による地域づくりの促進	2-1-2			42百万円
	地域の縁結び事業	2-1-3			43百万円
	子どものまちづくりへの参加促進事業	2-1-3			40百万円
	市民まちづくり活動促進総合事業	2-1-3			40百万円
	さっぽろ元気NPOサポートローン	2-1-3			35百万円
	地区センターバリアフリー化事業	3-2-3			147百万円
<b>市民生活部</b>					
	高齢者消費者被害防止ネットワーク事業	3-1-2			33百万円
	アイヌ伝統文化活動推進事業	5-1-3			20百万円
	札幌市アイヌ施策推進計画策定	5-1-3	2-1-3		10百万円
<b>保健福祉局</b>					
<b>総務部</b>					
	福祉のまち推進事業	3-1-1	3-1-2	2-1-3	-
	福祉除雪事業	3-1-1	3-2-1		-
	高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業	3-1-2	3-2-1		225百万円
<b>保健福祉部</b>					
	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)	3-1-1			132百万円
	ねんりんピック北海道・札幌 2009の開催	3-1-1			326百万円
	敬老優待乗車証交付事業	3-1-1			1,054百万円
	さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業	3-1-2			10百万円
	認知症サポーター養成事業	3-1-2			-
	地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)運営事業	3-1-3			132百万円
	介護予防事業の充実	3-1-3			-
	夜間対応型訪問介護事業費補助事業	3-1-3			90百万円
	特別養護老人ホーム新設費補助事業	3-1-3			480百万円
	若年性認知症支援事業	3-1-3			12百万円
	高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業	3-1-3			57百万円
	障がい者グループホーム等の拡充	3-2-1			52百万円
	身近な地域における総合的な相談支援体制の拡充	3-2-1			251百万円
	精神障がい者退院促進支援事業	3-2-1			30百万円
	障がい児(者)に対する専門的な療育支援体制の拡充	3-2-1			37百万円
	障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん(派遣)」事業～	3-2-2			35百万円
	障がい者協働事業の拡充	3-2-2			193百万円
	「元気ショップ」の拡充	3-2-2			30百万円
	障がい者地域活動支援センター(就労者支援型)の創設	3-2-2			55百万円
	障がい者施設等に対する発注機会の拡大	3-2-2			-
	知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業	3-2-2			8百万円
	優しさと思いやりのバリアフリー	3-2-3			-
	福祉のまちづくり環境整備事業	3-2-3			1,698百万円
<b>健康衛生部</b>					
	妊婦一般健康診査の公費負担拡充	1-1-2			561百万円
	生後4か月までの全戸訪問	1-1-2			95百万円
	不妊治療支援事業	1-1-2			109百万円
	美味しいまち げんきなまち 食育推進事業	1-1-2			-
	乳幼児医療費助成制度の拡充	1-1-2			975百万円
	「健康さっぽろ21」推進事業	5-2-2			6百万円
	市民健康づくりサポート事業	5-2-2			18百万円
	高齢者ひとくち講座・口腔ケア推進事業	3-1-3			57百万円
<b>衛生研究所</b>					
	市民が安全に暮らせるための感染症検査体制の拡充	4-3-2			11百万円

局 部	事 業 名	施策体系コード		事業費
<b>子ども未来局</b>				
<b>子ども育成部</b>				
	ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	1-1-1		88百万円
	児童クラブなどにおける障がいのある子どもの対応の充実	1-2-2	1-1-1	78百万円
	わたしたちの児童会館づくり事業	1-2-3	2-1-3	4百万円
	児童会館における中・高校生の利用促進	1-2-3		183百万円
	ミニ児童会館の新設	1-2-3	1-1-1	645百万円
	放課後子どもプランの推進	1-2-3	1-1-1	-
	さっぽろ夢大陸「大志塾」事業	1-2-3		15百万円
	こどものまち「ミニさっぽろ」事業	1-2-3		18百万円
	子どもの権利の推進	1-2-3		134百万円
<b>子育て支援部</b>				
	多様な保育サービスの充実	1-1-1		604百万円
	保育所待機児童対策事業	1-1-1		1,375百万円
	多様な子育てサロン事業の充実	1-1-3		18百万円
	子育てアドバイザー養成・活動促進事業	1-1-3		14百万円
	出前子育て相談事業	1-1-3		2百万円
	さっぽろ市民子育て支援宣言事業	1-1-3		-
	企業・団体と連携した子育て支援事業	1-1-3		-
	区保育・子育て支援センター整備事業	1-1-3		29百万円
	(仮称)市立認定こども園整備事業	1-1-3	1-2-1	533百万円
<b>児童福祉総合センター</b>				
	児童家庭支援センター体制整備	1-2-2		57百万円
	地域小規模児童養護施設の整備	1-2-2		21百万円

局 部	事 業 名	施策体系コード		事業費
<b>環境局</b>				
<b>環境事業部</b>				
	札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定	4-2-3		-
	家庭用廃食油資源化促進事業	4-2-3		11百万円
	ごみ減量アクションプログラム支援事業	4-2-3		48百万円
	定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業	4-2-3		10百万円
	新たな普及啓発拠点の整備(リユース広場)	4-2-3		78百万円
	中規模事業所ごみ減量推進事業	4-2-3		5百万円
	事業ごみのリサイクル処理推進事業	4-2-3		-
	焼却灰リサイクル可能性調査	4-2-3		-
<b>環境都市推進部</b>				
	「環境首都・札幌」宣言事業	4-2-1		7百万円
	CO <sub>2</sub> 削減普及推進事業(エコライフ定着関係事業)	4-2-1		134百万円
	環境教育の推進	4-2-1		90百万円
	建築物環境配慮事業	4-2-2		33百万円
	環境配慮型事業者支援事業	4-2-1		-
	都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助	4-2-2		766百万円
	風力発電事業推進	4-2-2		-
	下水熱有効利用モデル事業	4-2-2		25百万円
	太陽光発電等設置モデル事業	4-2-2		52百万円
	札幌市次世代エネルギーパーク事業	4-2-2		21百万円
	メガワットソーラー共同利用モデル検討事業	4-2-2		-
	札幌・エネルギーecoプロジェクト	4-2-2		2,388百万円
	公共施設における省エネ・新エネ導入体系化推進事業	4-2-2		-
	水辺とのふれあい推進事業	4-1-3		2百万円
<b>みどりの推進部</b>				
	みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業	4-1-4		17百万円
	みどり資源の保全推進事業	4-1-1		1,384百万円
	木立ちを感じる街づくり事業	4-1-2		728百万円
	さっぽろふるさとの森づくり事業	4-1-2		39百万円
	北緯43° 花香る北の街づくり事業	4-1-2	5-4-1	200百万円
	パークゴルフのできる公園整備事業	5-2-1		-
	ユニバーサルデザインの公園づくり事業	3-2-3		1,692百万円
	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	1-1-3	3-2-3	266百万円
	創成川通親水緑地整備事業(創成川公園整備)	4-1-2	5-3-1	2,100百万円
<b>円山動物園</b>				
	北海道の野生動物復元事業	4-2-1		671百万円
	円山動物園リニューアル事業	4-2-1		-

局 部	事 業 名	施策体系コード		事業費
<b>経済局</b>				
<b>産業振興部</b>				
	元気がんばれ資金	2-2-1		5,579百万円
	中小企業金融対策資金	2-2-1		326,420百万円
	中小企業ネットワーク構築・推進事業	2-2-1		81百万円
	アジア圏等経済交流促進事業	2-2-1		145百万円
	国内販路拡大支援事業	2-2-1		28百万円
	団塊の世代及び女性の起業支援事業	2-2-3		15百万円
	ベンチャー支援事業	2-2-3		194百万円
	ものづくり産業活性化支援事業	2-2-3		43百万円
	コミュニティ型建設業創出事業	2-2-3		47百万円
	「食のまち」札幌の推進	2-3-1		96百万円
	札幌スタイル推進事業	2-3-1		93百万円
	さっぽろコンテンツマーケット創出事業	2-3-2		—
	「創造都市さっぽろ(Sapporo ideas city)」の活用と推進	2-3-2		80百万円
	さっぽろフィルムコミッション強化事業	2-3-2		124百万円
	高度情報通信人材育成・活用事業	2-3-2		188百万円
	新産業育成推進事業	2-3-2		48百万円
	企業連携構築事業	2-3-2		30百万円
	北海道大学連携型起業家施設運営事業	2-3-2		66百万円
	さっぽろバイオクラスター構想 "Bio-S" 推進事業	2-3-2		29百万円
	企業誘致促進事業	2-3-3		304百万円
	雇用創出型ニュービジネス立地促進事業	2-3-3		870百万円
<b>雇用推進部</b>				
	就業者総合サポート事業	2-2-2		90百万円
	若年層に対する就業支援事業	2-2-2		145百万円
	産業人材の育成事業	2-2-2		—
<b>農務部</b>				
	「顔の見える農業」推進事業	4-3-2		13百万円
	魅力ある食づくり推進事業	2-3-1		12百万円
	環境保全型農業支援事業	4-2-1		10百万円



局 部	事 業 名	施策体系コード			事業費
<b>観光文化局</b>					
<b>観光部</b>					
	平岡公園・梅林ライトアップ事業	5-4-1			27百万円
	新たな秋のイベント事業	5-4-1	5-4-3		149百万円
	大通公園スケーティング・スクエア事業	5-4-1			160百万円
	ライラックまつり魅力アップ事業	5-4-1			12百万円
	さっぽろ雪まつり魅力アップ事業	5-4-1			112百万円
	藻岩山魅力アップ事業	5-4-1			604百万円
	定山溪温泉活性化補助	5-4-1			12百万円
	観光都市さっぽろ推進事業	5-4-2			150百万円
	ターゲット別国内観光プロモーション事業	5-4-2			36百万円
	国際観光誘致事業	5-4-2			44百万円
	(仮称)札幌広域ドライブルートマップ作成事業	5-4-3			12百万円
<b>文化部</b>					
	パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助	5-1-1			658百万円
	カルチャーナイト事業への協力	5-1-1			-
	札幌市文化芸術振興条例に基づく基本計画策定	5-1-1			8百万円
	文化活動練習会場学校開放事業	5-1-2			5百万円
	舞台芸術創作活動支援事業	5-1-2			15百万円
	札幌交響楽団運営費補助事業	5-1-1			-
	創成川アートワーク事業	5-1-1	5-3-1		58百万円
	さっぽろアートステージ事業	5-1-1			93百万円
	公立文化施設活性化推進事業(芸術の森ART BOX)	5-1-1			20百万円
	サッポロ・シティ・ジャズ	5-1-1			33百万円
	子どもの美術体験事業	1-2-3	5-1-2		4百万円
	芸術文化情報発信事業	5-1-1			4百万円
	子どもの映像制作体験事業	1-2-3	5-1-2		5百万円
	佐藤忠良関連施設整備事業	1-2-3	5-1-2		358百万円
	Kitaraファーストコンサート事業	1-2-3	5-1-2		115百万円
	芸術の森園路等バリアフリー化事業	3-2-3			19百万円
	博物館活動センター展示室整備事業	5-1-3			15百万円
	伝統文化保存伝承事業	5-1-3			-
	文化財施設維持保存事業	5-1-3			186百万円
<b>スポーツ部</b>					
	中央体育館改築事業	5-2-1	4-4-3		-
	子ども体力向上事業	5-2-1			23百万円
	さっぽろスポーツキャラバン隊事業	5-2-2			24百万円
	地域スポーツクラブ支援事業	5-2-2			11百万円
	ウインタースポーツ振興事業	5-2-3			10百万円
	ウインタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル	5-2-3			132百万円
	中島体育センター耐震補強事業	4-4-3			6百万円
	白旗山緑化復元事業	4-1-2			43百万円
	体育施設整備事業	3-2-3			56百万円

局 部	事 業 名	施策体系コード		事業費
<b>建設局</b>				
<b>管理部</b>				
	協働による冬期歩行環境の改善	2-1-1		—
	地域と創る冬みち事業	2-1-1		453百万円
	景観計画推進事業	5-3-2		16百万円
	北緯43° 花香る北の街づくり事業	4-1-2	5-4-1	200百万円
<b>土木部</b>				
	誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業	3-2-3		3,674百万円
	交通結節点改善事業 (JR白石駅周辺地区)	5-3-3		4,524百万円
	創成川通アンダーパス連続化事業	5-3-1		10,436百万円
	札幌駅前通地下歩行空間整備事業	5-3-1		14,126百万円
	創成川通親水緑地整備事業	4-1-2	5-3-1	2,100百万円
	災害に強い道づくり事業 (橋りょうの耐震化)	4-4-3		2,840百万円
<b>下水道河川部</b>				
	合流式下水道の改善事業	4-1-3		1,982百万円
	協働による雨水浸透の推進	4-1-3		—
	多自然川づくりの推進	4-1-3		582百万円
	雨に強いまちづくり	4-4-2		897百万円
	下水道施設の耐震化	4-4-3		2,157百万円
<b>都市局</b>				
<b>市街地整備部</b>				
	特定優良賃貸住宅を活用した子育て支援事業	1-1-3		—
	安心して住まえる公的賃貸住宅の供給	3-1-2	3-2-1	1,590百万円
	厚別副都心地区のバリアフリー化	3-2-3		750百万円
	民間再開発による地域まちづくりへの支援事業	5-3-2		2,605百万円
<b>開発事業部</b>				
	“ひかりの”元気の杜推進事業	5-3-2	4-1-2	1,477百万円
	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業	4-4-2		311百万円
<b>建築部</b>				
	市有建築物耐震化推進事業	4-4-3		78百万円
<b>建築指導部</b>				
	民間建築物耐震化促進事業	4-4-3		308百万円
	民間建築物吹付けアスベスト対策事業	4-3-2		31百万円
<b>交通局</b>				
<b>事業管理部</b>				
	地下鉄ICカードシステムの導入	5-3-3		3,271百万円
<b>高速電車部</b>				
	東西線可動式ホーム柵設置事業	4-3-2		3,327百万円
	地下鉄駅施設のバリアフリー化の推進	3-2-3		875百万円
	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入	5-3-3		—
<b>水道局</b>				
<b>給水部</b>				
	緊急貯水槽等整備事業	4-4-2		1,119百万円
	札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化	4-4-3		1,477百万円
<b>消防局</b>				
<b>総務部</b>				
	消防施設耐震補強事業	4-4-3		41百万円
	消防力の充実に向けた消防体制の確立	4-3-2		—
<b>予防部</b>				
	開かれた消防活動の推進	4-3-1		—
<b>警防部</b>				
	救急隊増強整備	4-3-2		37百万円
	携帯電話等からの119番通報時の位置情報通知システムの導入	4-3-2		47百万円
	救急業務高度化推進事業	4-3-2		150百万円

局 部	事 業 名	施策体系コード	事業費
<b>中央区</b>			
市民部			
	大学や学生との連携による地域づくりの促進	2-1-2	42百万円
<b>北区</b>			
市民部			
	子どもの安全を地域で守る地域安全マップづくり事業	4-3-1	5百万円
<b>東区</b>			
市民部			
	アマとホップのフラワーロード推進事業	4-1-2	4百万円
	大学や学生との連携による地域づくりの促進	2-1-2	42百万円
<b>白石区</b>			
保健福祉部			
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進事業	3-1-2	6百万円
<b>厚別区</b>			
市民部			
	サイクリングロードモザイクアート事業	4-3-1	4百万円
	厚別清掃工場跡地/パークゴルフ場等整備事業	5-2-1	84百万円
<b>豊平区</b>			
市民部			
	「安全・安心な街とよひら」推進事業	4-3-1	4百万円
	豊平スポーツ・健康づくり応援事業	5-2-2	14百万円
<b>清田区</b>			
市民部・土木部			
	やすらぎ歩行空間プランの策定	5-3-2	8百万円
<b>南区</b>			
土木部			
	落葉から環境保全と地域交流事業(香りとみどりにあふれたまちづくり)	4-2-1	7百万円
<b>西区</b>			
市民部			
	地球に優しいまちづくり支援事業	4-2-1	15百万円
<b>手稲区</b>			
保健福祉部			
	知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成モデル事業	3-2-2	8百万円

局 部	事 業 名	施策体系コード	事業費
<b>教育委員会</b>			
<b>総務部</b>			
	さっぽろ学校給食フードリサイクル	1-2-1	－
	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	4-3-1	67百万円
	学校・みどりのふれあい推進事業	4-1-4	－
	学校施設耐震補強事業	4-4-3	5,138百万円
	学校改築事業	4-4-3	13,589百万円
<b>学校教育部</b>			
	札幌市奨学金の拡充	1-2-1	77百万円
	特別支援学級の整備	1-2-2	124百万円
	特別支援教育の推進体制の充実	1-2-2	1,119百万円
	豊明高等養護学校における教育の充実	1-2-2	271百万円
	幼児教育振興を図る新たなしくみの構築	1-2-1	－
	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置	1-2-1	2,670百万円
	特色ある市立高校づくり	1-2-1	40百万円
	いじめ・不登校対策の推進事業	1-2-2	352百万円
	信頼される学校の創造事業	1-2-1	－
	生きいきと学ぶ力の育成事業	1-2-1	－
	国際理解教育推進事業(外国語指導助手配置)	1-2-1	126百万円
<b>生涯学習部</b>			
	家庭教育事業	1-2-1	－
	学校図書館地域開放事業	1-2-1	18百万円
	子どもの自然体験活動事業	1-2-3	－
	青少年科学館展示物整備事業	1-2-3	40百万円
	学校・地域連携事業	1-2-1	－
	さっぽろ市民カレッジによる人材育成の推進	2-1-3	－
<b>中央図書館</b>			
	図書館サービス網の拡充	5-3-2	35百万円